

ISHIDA まちづくり ニュース

第57号(平成21年3月) (株)石田技術コンサルタンツ

環境モデル都市の取組みについて

今後、わが国が目指すべき低炭素社会の姿を具体的にわかりやすく示すため、温室効果ガスの大幅な削減など高い目標を掲げて先駆的な取組みにチャレンジする都市を「環境モデル都市」として選定し、関係省庁が連携してその実現を支援することとしています。(内閣官房地域活性化統合事務局)
今回は、「環境モデル都市」に指定されている6都市と平成21年1月21日に追加選定された7都市の取組みを紹介し、今後の環境都市づくりを考察します。

□横浜市…「市民力」によるリサイクル対策、大都市型ゼロカーボン生活の実現

- ・ 住宅性能の評価・格付け制度、「エコもてなし」、大型開発の省エネ化および「横浜環境ポイント制度」によるゼロカーボン生活の実現
- ・ 「市民力」を活かした再生可能エネルギー利用と公共施設等での再生可能エネルギー施設導入
- ・ 低燃費車の普及推進と魅力ある交通手段(電気自動車・マイクロモビリティ)のシェア
- ・ 脱温暖化連合「大都市・農山村連携モデル」の構築

□北九州市…公害克服実績を活かした、世界・アジアを代表する環境モデル都市を目指す

- ・ 未利用エネルギー供給システム、水素エネルギーモデル地区、ソーラーファクトリーおよび「北九州エコタウン」の展開
- ・ 低炭素先進モデル「200年街区」と環境配慮型建築物の普及
- ・ 高効率交通システム(電気自動車実証実験など)
- ・ 「北九州市民環境パスポート」や低炭素社会総合学習システムによる市民参加のしくみづくり

□富山市…公共交通を軸としたコンパクトシティの実現

- ・ 「富山エコタウン」の展開と省水力発電の導入による再生可能エネルギー等の活用
- ・ 「チーム富山市」によるエコ活動の推進による市民総参加型の温暖化防止活動の実地
- ・ LRTネットワークの充実と軌道敷緑化等の実施
- ・ 公共交通沿線への居住推進と街なか居住の推進によるコンパクトシティの実現

□帯広市…農業を中心とした「田園環境モデル都市」を目指す

- ・ 不(省)耕起栽培の普及・促進、適切な圃場管理の促進による低炭素型の農畜産業の推進
- ・ 市民のシンボル「帯広の森」の育成・活用による市民参加の森づくり
- ・ 豊富なバイオマス資源の活用とクリーンエネルギーの導入による再生可能エネルギー等の活用
- ・ 木質バイオマス関連施設や新エネルギー施設、環境リサイクル施設等の立地誘導
- ・ 全市民運動の展開(環境家計簿、マイバッグ、マイ箸、マイボトル、木質パレットストーブ等)

□下川町…「北の森林共生低炭素モデル社会」の創造を目指す

- ・ 循環型森林経営の実施、ヤナギの栽培、森林バイオマスエネルギーの導入による地域資源の活用
- ・ ゼロカーボン住宅の建設や快適性環境整備促進制度の導入による住宅の低炭素化
- ・ 住民参画協働運動、二酸化炭素削減コンテスト、森林環境教育による市民の活力の導入

□水俣市…水俣病の教訓を糧に環境実践活動と環境技術による経済活性化を促進

- ・ 水俣版環境 ISO の推進、エコショップ制度、地区環境協定制度、市民の森づくりによる地域ぐるみの多様な活動の推進
- ・ ごみの減量・高度(22種類)分別、エコタウンの充実による資源循環の取組み
- ・ 地元資源を活用したバイオマスエネルギーの創出、新エネルギーの積極的活用による再生可能エネルギーの活用
- ・ みなまた環境大学、村まるごと生活博物館による環境学習都市づくり

<追加選定された7都市>

■京都市…歩行者主役のまちづくり、「地域力」を活かした低炭素化活動

- ・ 四条通りのトランジットモール化、災害路への自動車流入抑制、エコ通勤の拡大等で運輸部門の排出量を大幅削減
- ・ 京都の風情を残した低酸素家屋の普及。「平成の京町屋」の建設
- ・ 「エコ町内会」、「エコ学校」により、地域ぐるみの力を活かした取組みを推進

■堺市…低炭素型コンビナート形成、低炭素型ライフスタイル

- ・ メガソーラー、大型燃料電池、省エネ設備導入等により産業部門の排出を大幅削減
- ・ まちなかソーラー発電所(10万世帯での太陽光発電設置)の実現
- ・ 地場産業である自転車を活かした「コミュニティ・サイクル・システム」の構築

■飯田市…市民参加による自然エネルギー導入、低炭素街づくり

- ・ 市民ファンドによる太陽光パネル設置事業を熱供給システムと融合し個人住宅へ展開
- ・ 街区単位で再生可能エネルギーを利用するシステムの構築、低炭素住宅等の普及

■豊田市…先端環境技術活用による街づくり、エコ・カーライフ

- ・ 世界に先駆けて快適な低炭素社会を実体験する「低炭素社会モデル地区」において、交通・住宅等に関する国内外の先進環境技術を公募により選考導入
- ・ 次世代自動車共同システム(カーシェアリング)、太陽光発電による充電インフラの整備等により、「エコ・カーライフ」を実現

■橿原市…木質バイオマス地域循環モデル事業

- ・ 木質ペレットの生産・利用や、その事業収入・国内クレジット取引等で得た資金を森づくりに活用する循環型モデル事業を実施
- ・ 風力発電を2050年度までに40基設置

■宮古島市…サトウキビ等による地産地消型エネルギーシステム

- ・ サトウキビからバイオエタノールを製造し自動車燃料に利用するとともに、バガス(製糖後のサトウキビ残渣)を発電用に活用
- ・ 太陽光・風力発電、バガス発電、バイオエタノール等によりCO₂フリー自動車社会を実現

■千代田区…省エネ型都市づくり、エネルギー効率向上

- ・ 区内の中小既築ビルの省エネ対策、街区・地区の面的対策を重点的に図る「グリーンストック作戦」を展開
- ・ 東京駅周辺を中心とする地域冷暖房施設の高度化、河川水熱利用等によるエネルギー効率向上推進

環境モデル都市の内容をみると、2つのキーワードがあります。

ひとつは「市民参画」です。先進技術は道具であり、主体としての「地域力」や「市民力」が絶対条件として必要であるといえます。各都市ともに、市民参画を効果的に実施するための知恵が出されています。

もうひとつは、「目に見える効果」です。低炭素という目に見えない効果を分かり易く、実感でき易い形の取組みで表現することが重要です。その中でも、「カーボン・マイレージ」という発想は地域資源の活用や地産地消、地域の自立および中心市街地の活性化などに直接結びつく効果指標として、注目されます。

お問い合わせ・ご意見は、

㈱石田技術コンサルタンツ まちづくり担当

TEL ; 0568-73-1085

FAX ; 0568-73-1091

e-mail ; hasegawa_n@itcnet.co.jp

までお願いします。

当社は、

「頼れる！まちづくりのパートナー」としての

「コミュニティ・コンサルタント」

を目指しています。



株式
会社

石田技術コンサルタンツ